



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G1307号)

平成25年10月30日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

平成25年度ズワイガニ漁況の見通しについて

調査船「たじま」の調査結果などから見た今期のズワイガニ漁況の見通しについて報告します。

1. 今漁期の見通し

- ①解禁直後(但馬沖漁場): 但馬沖の資源量はオスがに(硬がに)は前年並み、メスがにには前年をやや下回っていると考えられる。メスがにの漁場は 235~240m を中心に形成される。
- ②漁期全般(浜田沖~丹後沖漁場): 日本海西部海域全体のズワイガニ資源量は前年をやや上回っていると考えられる。漁獲量はオスがにには前年並み、メスがにには前年並みか前年をやや上回る可能性がある。

2. 根拠となった情報

① 但馬沖漁場

調査船「たじま」によるトロール漁期前調査(調査月:10月)

調査船「たじま」により、平成25年10月21~23日に、香住沖の水深200~300mおよび津居山沖・浜坂沖の水深225~250mに設けた計12点(図1)でトロール網(袖先間隔28m、3ノット、30分曳き)による試験操業を実施しました。

- ・オスがに(硬がに): 水深225~250m付近で多く入網しました。(表1、図2) メスがに分布水深を中心に少し幅広く分布していました。全水深帯(200~300m)の1曳網当たり入網数は2.1匹で前年(2.0匹)とほぼ同じでしたが、過去5年平均(2.4匹)を下回りました。(表2、図3)
- ・メスがに(クロコ): 水深235~240m付近で多く入網しました。(表1、図2) メスがに漁場(235~250m水深帯)でのトロール1曳網当たり入網数は55.1匹で過去5年平均(50.7匹)を上回りましたが、前年(66.2匹)には及びませんでした。(表2、図3) 今回、香住沖では水深235~240mで操業できなかったため、1曳網当たり入網数は少なく見積もられていると考えられます。
- ・ミズがに: 水深200m定点で、脱皮直前のフタカワと直後の軟甲がにが多く入網しました。全水深帯(200~300m)での1曳網当たり入網数は21.8匹で、前年(3.9匹)および過去5年平均(15.1匹)を大きく上回りました。(表1、2、図2)

② 浜田沖~丹後沖漁場

水研調査(調査月:5~6月) (独)水産総合研究センター日本海区水産研究所は、平成25年漁期当初の資源量について、メスがにには浜田沖、若狭沖などで、ミズがにには隠岐北方、但馬沖、若狭沖などで資源量が前年を上回ると推定しています。(図4~6)

3. その他の情報

- ・脱皮前後のかにや若齢がにが大量に入網する海域では、操業の自粛を心がけて下さい。
- ・エチゼンクラゲは全ての定点で入網しました。入網量は1曳網当たり27kg(1~4個体)で、前年および過去5年平均を下回っています。今後急激に増加する可能性は少ないですが、注意して操業して下さい。
- ・標識や発信機を付けたカニの放流を実施しています。再捕された方は、当センターまたは最寄りの漁協までご報告願います。

お問い合わせ先: 兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター (担当: 大谷)

TEL: 0796-36-0395 FAX: 0796-36-3684

E-mail: nourinc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ: <http://hyogo-suigi.jp/tajima/>

資料①
(但馬沖)

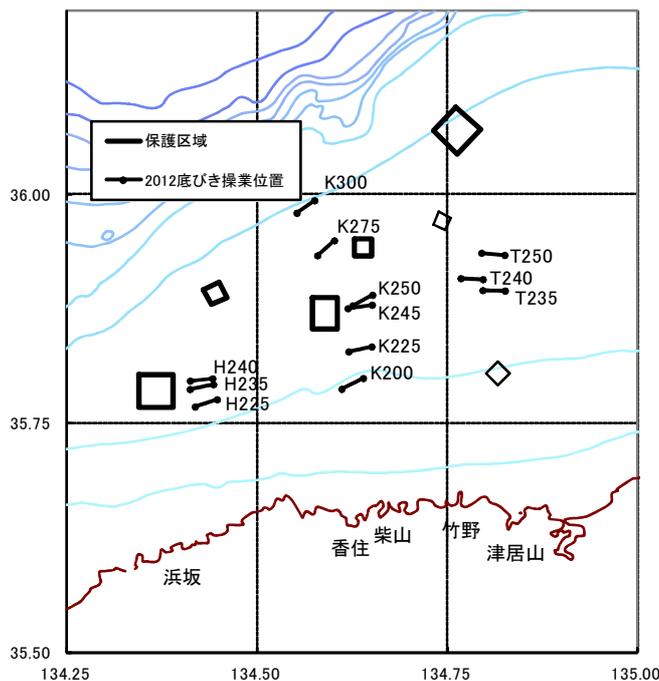


図1 但馬沖調査海域図

表1 操業点別のズワイガニ等入網状況

漁場	年月日	操業点	曳網水深 (m)	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	エチゼンクラゲ 入網量 (kg/網)	海底 水温*4 (°C)
				オス*1	ミス**2	メス*3			
津居山・ 竹野沖	2013/10/23	T250	250→248	4	6	1	2.3	25	1.3
	"	T240	241→240	5	0	66	1.0	20	1.4
	"	T235	237→237	2	1	30	2.3	10	1.5
香住沖	2013/10/22	K300	301→299	2	4	0	9.8	40	0.9
	"	K275	276→272	1	8	0	14.2	25	1.0
	"	K250	246→245	1	5	1	5.3	70	1.4
	2013/10/21	K245	245→241	1	7	3	21.6	10	1.6
	"	K225	222→220	2	6	0	11.8	40	2.0
浜坂沖	2013/10/22	K200	200→197	0	85	0	2.6	17	2.2
	2013/10/21	H240	240→238	9	2	252	24.6	5	1.3
	"	H235	236→236	8	3	10	14.9	40	1.4
	"	H225	223→223	4	11	0	10.2	48	1.4

表2 曳網当たり入網匹数の前年および過去5年平均との比較

水深帯	調査年	ズワイガニ 入網数(匹/網)			アカガレイ 入網重量 (kg/網)	エチゼンクラゲ 入網重量 (kg/網)	平均海底 底水温*4 (°C)	備 考
		オス*1	ミス**2	メス*3				
全水深帯 (200-350m平均)	過去5年平均*5	2.4	15.1	7.1	10.0	45.8	1.8	
	2012年	2.0	3.9	11.2	13.0	57.3	1.7	
	2013年	2.1	21.8	11.0	9.9	30.6	1.4	350m欠
メス漁場水深帯 (235-250m平均)	過去5年平均*5	4.7	2.2	50.7	17.6	42.7	2.0	
	2012年	6.3	1.6	66.2	10.1	43.7	2.0	
	2013年	4.4	3.6	55.1	11.7	26.9	1.4	香住沖240m欠

*1 硬がに(甲幅9cm以上・硬甲・ハサミ大) *2 2 11齢(二皮)と硬がに以外の12・13齢
*3 漁中にクロコになる個体 *4 漁網監視装置より *5 2008年以前は網の規模に応じ1.4倍に補正

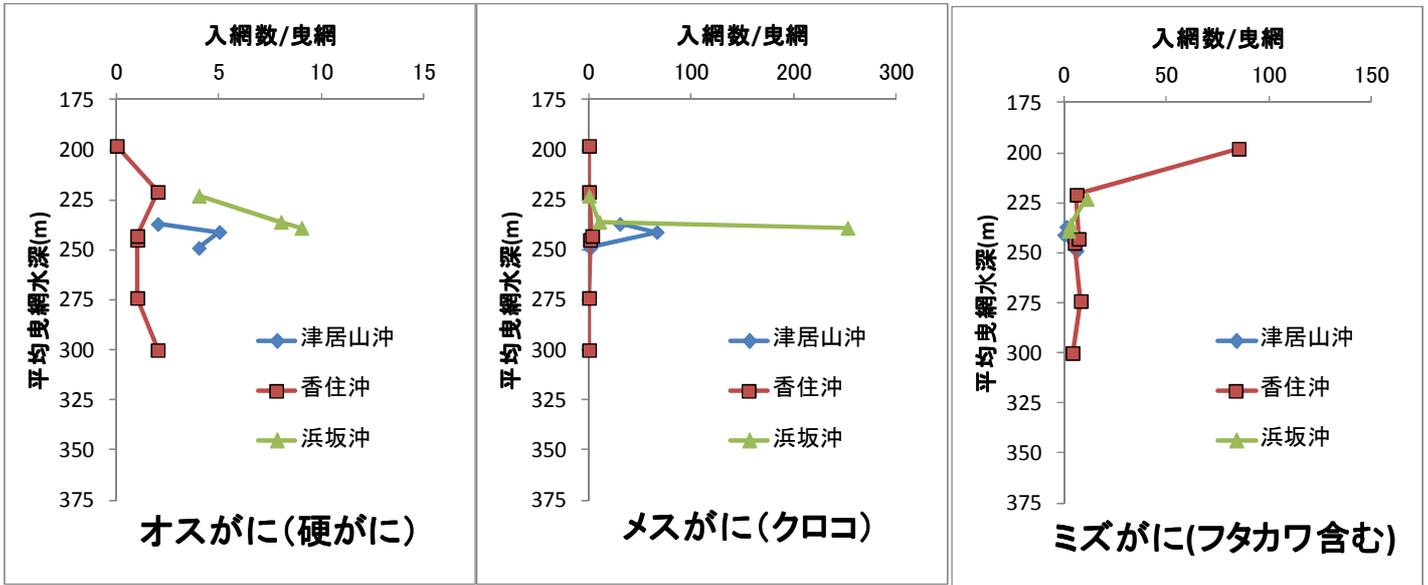


図2 平均曳網水深と入網数(但馬沖)

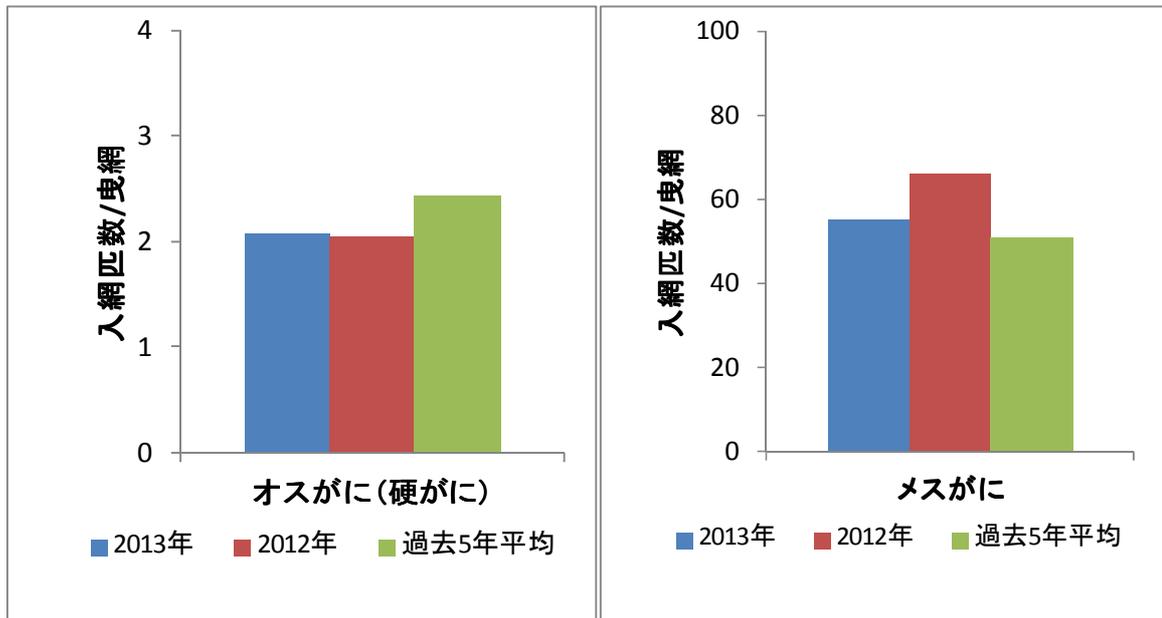


図3 平均入網匹数の過去との比較(但馬沖)
(メスガに: 235-250m平均、オスガに: 全水深帯平均)

資料②
(他の海域)

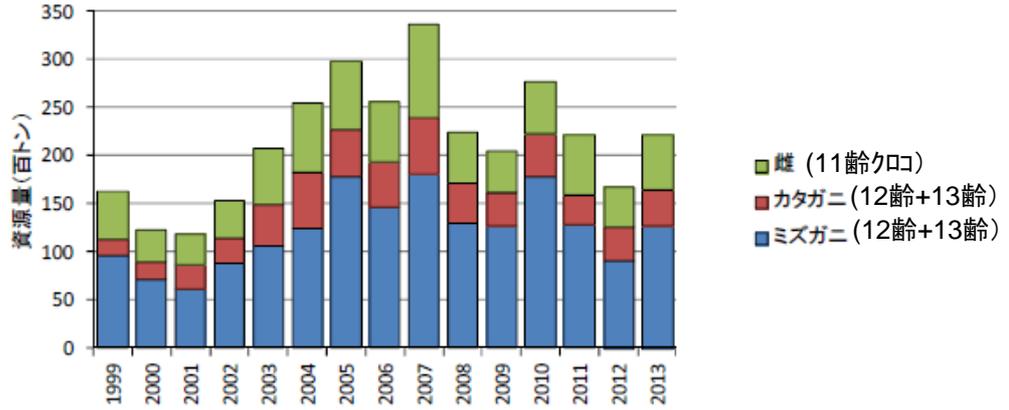


図4 漁期時点における推定資源量

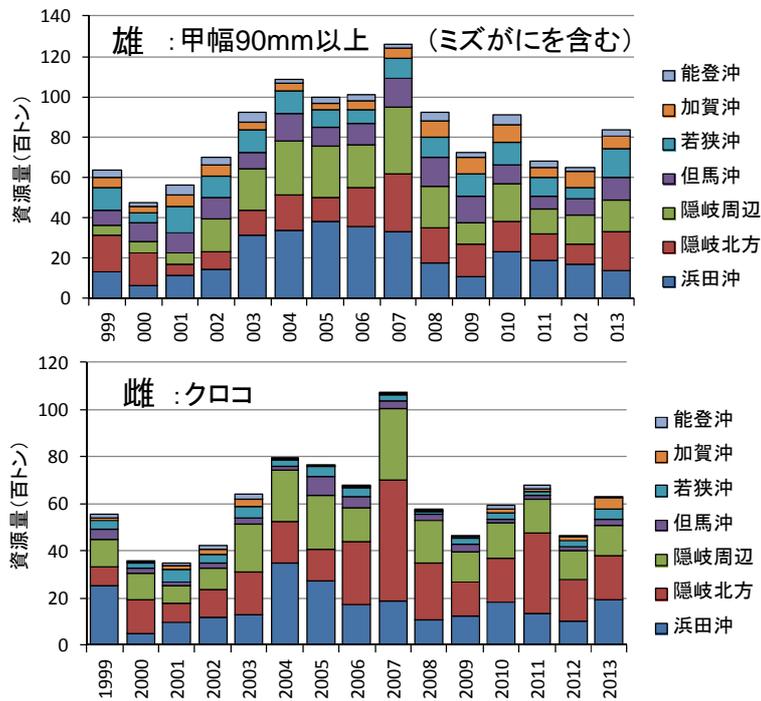


図5 小海区別 推定漁獲対象資源量

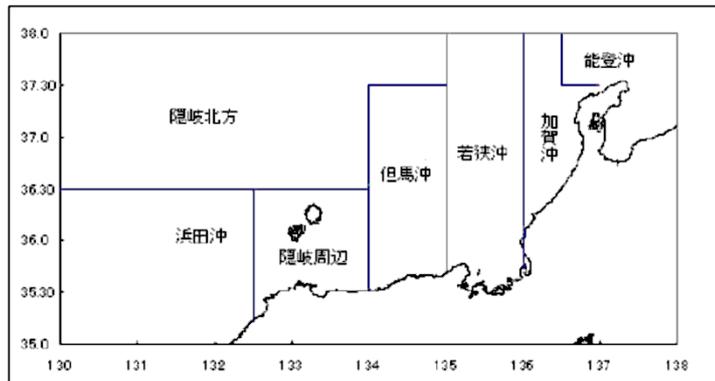


図6 小海区区分

「水研センター日水研資料」より